

2021

Annual Activity Report



すべての子どもたちが夢と希望を持ち、
努力が正当に報われる社会を実現する

NPO 法人 DAREDEMO HERO

「夢の実現まで支え続ける」 子どもたちとの約束を守るために

ご挨拶

皆様のお力をお借りし、再生・再建の1年がスタートしました！

日頃より DAREDEMO HERO をご支援いただき、誠にありがとうございます。2020年3月の新型コロナウイルス感染症の蔓延から始まり、2021年も試練の1年となりました。特に年末にセブ全域を襲った巨大台風22号の被害は、長期に及ぶパンデミックで疲弊していたセブの経済に、さらなる大きなダメージを与えました。

団体としても個人としても、これまでのように支援者・被災者という立場での活動ではなく、共に被災者という立場で、これまでとは全く違う厳しい状況下での支援活動となりました。それでも前に進むことができたのは、たくさんの温かいお言葉とご支援を下された皆さまの力と、どんなに過酷な状況でも明るく前向きに生きるフィリピン人の存在があったからこそです。

思い返せば、2019年に私が代表に就任させていただいてから、まさにジェットコースターのような毎日でした。その中でも「夢の実現まで支え続ける」という子どもたちとの約束を守るため、とにかく自分にできることをがむしゃらに続けてきました。そうしているうちに、同じ志を持ったスタッフ、支えてくれる仲間、そしてご支援者様に恵まれ、その約束を守り続けることができています。さらには、奨学生に対する支援だけではなく、コロナで学ぶ機会を失った多くの子どもたち、日々の食べ物にも困る最貧困層の人々、台風の被災者など、支援の幅を広げることができています。

私はこれまで、精神保健福祉士としての病院勤務、公務員として役所での勤務を経験してきましたが、常に自分の中に埋まらない何かを抱えてきました。今思えば、「人のために何かしたい」という気持ちが常に私の原動力になっており、自分自身の幸福感を追求できていなかったからだと思います。2013年に初めてセブを訪れ、厳しい状況の中でも笑顔で暮らす人々に出会い「自分が笑っていれば、周囲も笑顔になり、その笑顔を見ると自分も笑顔になれる。だから常に笑っているんだ！」というフィリピン人の生き方に出会い、自分自身が幸せでなければ、本当の意味で周囲を幸せにすることはできないと気づかされました。

その出会いから8年が経ち、今では日々の活動に喜びを感じながら、生きることができています。さらに、奨学生たちも立派に成長を続けており、今では私たちの活動を手伝ってくれる、頼もしい人財に成長してくれています。そんな子どもたちの成長が、さらなる私の喜びに繋がっています。

パンデミックの2年間は、今まで当たり前できていたことが、たくさんできなくなってしまいました。しかし、そんな期間だからこそできることもたくさんありました。その一つとして、「想い」だけではなく、より多くの方々から信頼していただける団体を目指した、組織強化に力を注ぎました。私は、自分の存在意義は「支援を必要としている人々と、ご支援をくださる方々の強固な架け橋となり、お互いに幸せになっていただくこと」と考えております。それを実行することが、自分自身の幸せでもあります。そのためにも、パンデミック、台風など様々な災難により壊れてしまったものを、より良い形に再生・再建することが今年一年の目標です。

これからも、支援される側もご支援いただく側も、共に幸せになれるような団体を目指して活動してまいります。最後になりましたが、改めまして皆様のご支援に心より感謝申し上げます。



理事長

内山 順子

DAREDEMO HERO とは？

Everybody can be a hero !

たとえ貧困や問題のある家庭に生まれても、
夢と志を持って努力を重ねれば、自分の夢を叶え、
社会に貢献できるヒーローになれる！

Mission

すべての子どもたちが夢と希望を持ち、
努力が正当に報われる社会を実現する

Vision

貧困層が自ら問題を解決する力を付ける機会を提供する
国境を越えた交流を通じて、互いの視野を広げる機会を提供する

DAREDEMO HERO の活動

貧困問題の根本解決

奨学生に対する 教育支援

奨学生への生活支援

奨学生への学費支援

地域支援

緊急支援

自立支援

教育支援

文化交流

日比文化交流事業

スタディーツアー

オンライン SDGs プログラム

フィリピン政府児童福祉局認可取得 NGO
DAREDEMO HERO INC.

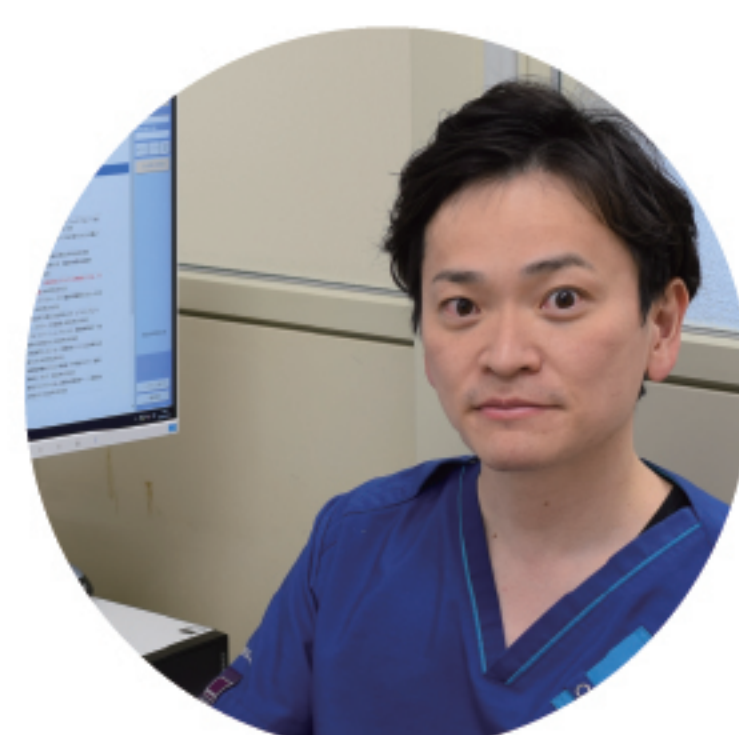
組織体制スタッフ一覧

貧困問題の解決に向けてともに活動するスタッフを紹介します。

NPO 法人 DAREDEMO HERO 理事・監事



内山順子
理事長



川邊睦記
副理事長



石塚浩之
理事



古島尚弥
理事



三井田隆
理事

DAREDEMO HERO INC. 理事・監事



Khalachuhi
Flores-Caballes
President



Casmero T.
Mahilum
Vice- President



Eden A. Ynot
Secretary



Marietta L. Latonio
Treasurer



Glydiza E. Gochoco
Members



Mary A. Calumba
Members



Tricia Abong
Members



Takatsugu Aoki
Members

現地スタッフ



Junko Uchiya
現地代表



Joyce June Bontilao
ソーシャルワーカー



Sheryl May Bonite
英語教師



Vivian Calupe
事務・会計



Rasel Tolente
ソーシャルワーカー



Rubelyn Kionisala
数学教師



William A. Harris
ドライバー



Richard Barasan
ガードマン



Jayzon D. Amparado
ラーニングセンター教員



Jean H. Bayarcal
ラーニングセンター教員



Jenevieve Viodor
プロジェクトスタッフ



Shiela Yam-id
プロジェクトスタッフ



Ara
エリアコーディネーター

WEB スタッフ



JUN SAITO
WEB SEO 担当



Yuriko Kamimori
WEB SEO 担当



内藤千賀



奥田彩花



久保裕斗

業務委託



会計士



税理士

多田税理士事務所

インターン

現在、新型コロナウイルスの影響により受け入れができておりません。

By the Numbers 2021

数字で見る DAREDEMO HERO

大型台風 22 号（オデット）緊急支援関連

支援を継続している奨学生

 **48** 人

奨学生の奨学金、生活費、食費の支給、また学習サポートを行っています。

ラーニングセンターで支援している子どもたち

 **50** 人

貧困層の子どもたちに対しての学びの場を提供しています。

配布した飲食物

 **11** T

500 世帯に 11,000kg のお米と 23,000 個の缶詰を届けました。

配布した飲料水

 **6000** L

被災地への飲料水提供を行いました。さらに浄水システムを役場に設置しました。

支援を継続している提携校

 **4** 校

より多くの子どもたちに教育の機会を提供するため、公立学校への支援を行っています。

最貧困地区の栄養・衛生指導

 **300** 世帯

貧困層が、自らの力で生きていくために必要な知識を提供しています。

家屋修繕支援

 **100** 世帯

台風により、家屋の修繕が必要な 100 世帯に、修繕のための資材を提供しました。

発電機設置

 **3** 個

停電により携帯やライトの充電ができない地域に、移動充電基地を設置しました。

コンピューター設置

 **38** 台

コロナ禍の学習のオンライン化に伴って、現在 5 か所にコンピューター HUB を設置しています。

奨学生への支援金

 **336** 万円

コロナ禍でも奨学生の健康を守り、勉強に集中できる環境を整えるために、毎月奨学金の支給を行っています。

農業再建支援

 **49** 世帯

台風の被害により自分たちの力で農業が再建できない農家に、種や肥料の貸し付けを行いました。

義援金を配布した奨学生世帯

 **45** 世帯

被害状況に合わせて、奨学生に義援金を配布することで、いち早く奨学生の住環境を整備しました。

目的	小学3年生から大学卒業まで、徹底した道德教育及び教育支援を行い、貧困問題を解決するための未来のリーダーを育成しています。
対象者	利他の精神と志を持った、貧困層の子どもたち
対象者数	50人

コロナ禍での支援



フィリピンでは2020年3月より一度も対面授業が再開されておらず、現在もオンライン授業もしくはプリントでの学習が続いています。しかし全体の14%しかインターネットアクセスがなく、地方においては10%未満の子どもたちしかオンライン授業を受けることができません。

DAREDEMO HERO では奨学生全員に対し、パソコンかタブレットの貸出しと自宅へのWi-Fi設置を行い、コロナ禍でもしっかり勉強ができる環境を提供しています。

保護者会の開催



子どもたちが夢を実現するためには、保護者の理解が必須です。教育の重要性、子どもたちの健康管理、進学に必要な情報などを共有するために、DAREDEMO HERO では、毎月保護者会を開催しています。

DAREDEMO HERO にとって、子どもたちだけでなくその保護者も、DAREDEMO FAMILY

の一員です。保護者、スタッフが協力し合い、子どもたちの夢の実現をサポートしています。



ジェームス (22歳)
フィリピン大学



ザーラ (19歳)
ベレス医大



シェーン (19歳)
セブ大学



セカンドル (19歳)
セブ大学



ジェニー (18歳)
セブ医大



エンジェル (19歳)
セブ大学

“

DAREDEMO HERO は私にとって、その名の通り「ヒーロー」です。
貧しい私にも、夢を見て努力する権利があることを教えてくれました。そして、夢の実現までの道を明るく照らしてくれています。
DAREDEMO HERO は、奨学生だけでなく、その家族をも変える力を持っています。



エンジェル (19歳)
進学先：セブ大学

”



ジェームス (22歳)
進学先：フィリピン大学

DAREDEMO HERO は私にとって第二の「HOME」です。私が悩んだとき、いつも家族の次に私のことを助けてくれます。そして、長期的な支援のお陰で、自分の力だけでは到底合格できるはずもない最高峰の大学で、今は学ぶことができます。DAREDEMO HERO は、日常で必要な食事や衣類、学用品だけでなく、私が必要としているものを全て与えてくれました。

”

自立支援

栄養指導プロジェクト



地方行政との連携

最貧困地区では、保護者に最低限の栄養、衛生に関する知識がないために、命を落としてしまう子どもたちがいます。各支援地区のバランガイ（役場）看護師や栄養士、青年ボランティアと協力し、毎月栄養、衛生に関するセミナーを開催しています。



保護者の声



“

DAREDEMO HERO が、私たちのコミュニティを支援してくれる前は、近所同士の派閥やいざこざがありました。しかし、DAREDEMO HERO が毎月セミナーを開いてくれたおかげで、私たちのコミュニティはとても仲良く学びあうことができるようになりました。保護者に対して、たくさんの知識を提供してくれるばかりでなく、子どもたちにも学びの機会を提供してくれ、私たちを正しい方向に導いてくれています。DAREDEMO HERO は神様からのご加護と思い、とても感謝しています。

”

マイクロファイナンス事業

マイクロファイナンスとは

貧しい人々に小口の融資や貯蓄などのサービスを提供し、彼らの零細事業の運営に役立て、貧困から脱出することを目指す金融サービスです。日本の皆さまからいただいている支援物資を販売し、資金源にしています。

運営はお母さんパワーで

この事業の運営は地元の女性グループです。初めは少額ローンを低利子で行って資金を増やしていき、最終的には自立のための小規模ビジネスや、事業のサポートを行っています。



緊急支援

新型コロナウイルス感染症に対する支援活動



コロナ禍で最貧困層の生活は困窮を極めていきます。ロックダウンで収入源を失った貧困層に対して、「今日を生きる」ための食料や日用品の配布を行いました。

新型コロナウイルス感染症に対しては、現在、緊急支援から主に自立支援に切り替えて支援活動を行っています。

大型台風 22 号に対する支援活動



2021年12月16日、大型台風22号(オデット)がセブを直撃しました。

まずは現状把握。まだ瓦礫が散乱する中、車を走らせ、奨学生全員の安否状況、支援地区の状況、さらに周りの被災状況を確認しました。

奨学生、支援地区ともに家屋には大きなダメージがありましたが、幸い全員が無事でした。スタッフ全員も被災し、物資の確保も難しい中で、「今できる支援」を行いました。

今後は、緊急支援と復興支援を並行して行っていきます。

目的

日本からのボランティアを受け入れ、日比文化交流を行っています。コロナ禍ではオンラインツールを活用し、日本とフィリピンの若者が共にSDGsの学びを深めるためのプログラムを提供しています。

事業対象者

日本とフィリピンの若者

日比文化交流事業



世界の問題を「他人事」から「自分事」へ

全く関わりのない世界の恵まれない国を支援することと、「Aさん」のいる貧困国を支援することでは、思い入れが全く違います。英語を勉強するにも、ただ英語を勉強することと、「Bさん」に英語で何かを伝えたいという思いがあって勉強することでは大きな違いがあります。

このように世界中で人と出会い、繋がることで、人生はより豊かで深いものになります。そんな出会いを日比の若者に提供するための活動を行っています。



参加者の声



広島修道大学 4年
吉本 絢さん

“

オンラインでは、出身も文化もタイムゾーンも異なる人々が繋がることができます。さらにオンライン交流における通訳の機会が増え、様々な言語間での知識の提供が可能になり、新しいアイデアが生まれています。オンライン交流には「コロナ禍だからこそできること」の可能性が詰まっています。

”

2021年度

文化交流実績

交流日	提携先
通年	広島修道大学との栄養指導プロジェクト
6月30日	拓殖大学
7月26日～29日	加藤学園バイリンガルコース
7月30日～8月3日	常翔学園
8月2日～6日	ノートルダム女子学院中学高等学校
9月6日～10日	活水女子大学 福岡女学院大学
9月20日	徳島文理大学
9月22日	箕面自由学園教員
10月14日	新松下村塾渋川校・武蔵塾
10月20日	日吉ヶ丘高等学校
10月29日	拓殖大学
11月20日	徳島県教育委員会主催オンラインプログラム

2021年度

オンライン事業実績

参加日	参加した事業
5月8日	オンライン里親報告会
5月12日	大阪ネクストロータリークラブ
7月14日	アミティエジャパン東京支部卓話
11月20日	横浜南ロータリークラブ卓話

ご支援くださった企業・団体のみなさま

寄付金額
(2021/04/01~12/31)

8,965,857 円

里親会員

112 人

緊急支援数
(延べ)

407 人

企業協賛 (※掲載順不同)



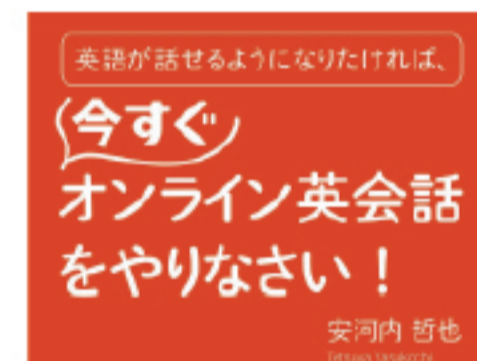
日本ナンバーワンの英語セミナー
英語イベント会社

EEE Therapies

一人治療家開業集客研究会
一般社団法人日本整体師経営協会運営



QQEnglish



GEORGE
CREATIVE
COMPANY



SEIKI
COMMUNITY GROUP



一般社団法人
朝活推進協会
The Association for Promotion of
Morning Activities

GLOBAL
Kitchen inc.

OWNER MAKER INC.

Heart Beat Inc.

株式会社 JJ イングリッシュ様・Asia Trade Link 合同会社様・Ryuga 氣功院様・株式会社セガ・エンタープライズ
様・株式会社ファーストオーシャン様・株式会社オーバーシーズ情報センター様・100percent design 合同会社様

協力団体 (※掲載順不同)



ご支援いただくみなさまの声



東進ハイスクール・ビジネススクール講師
一般財団法人実用英語推進機構代表理事
情報経営イノベーション大学客員教授

安河内 哲也 さん

誰かを助ける理由なんて、いつか後になってわかれば良い

世界のために何かを始めたい。でも、何をやってよいのかわからない。そんな人は多いと思います。私は、たまたま友人を通じて DAREDEMO HERO の一人の子供をサポートすることを始めました。どうして広い世界の中でセブなのか、たった一人を助けることで何が変わるのかと聞かれても、その答えは今でも探している途中です。

でも、数年間の支援活動を通じて、何度もセブを訪れ、沢山のの人々と出会いました。異国の地にできた新しい家族や仲間たちを通じて、人生を深める経験ができたことに感謝しています。誰かを助ける理由なんて、いつか後になってわかれば良いのだと思います。まずは手を差し伸べてみるのが大切だと思います。



榎原 麻起子 さん

大変な状況でも一生懸命生きているフィリピンの人たちの笑顔に衝撃を受けた

フィリピンに仕事でお邪魔した際に、大変な状況でも一生懸命生きているフィリピンの人たちの笑顔に衝撃を受けました。そして、DAREDEMO HERO にお邪魔して、この国の子供たちが置かれている状況を知り、自分にも何かできることはないかと考え、里親になることを決めました。一人でも多くのフィリピンの子供たちの夢が叶い、もっとたくさんの笑顔を見られることを祈りながら、DAREDEMO HERO の活動を応援しています。



荒木田 誠 さん

支援しやすい里親制度

2014年の冬、英語学習が目的で、セブ島に滞在してました。学校が休みの時、「クリスマスボランティア」で参加したのが始まりです。現地の子どもたちとの交流を通じて、「幸せとは？」を真剣に考えるきっかけにしてくれた体験でした。里親制度という支援しやすい制度があり、子どもたちのご家庭を訪問したり、親御さんとの会話から受ける感情も、支援し続けたいと思う理由です。

会計のご報告

活動計算書 (2021年5月1日~2021年12月31日)

(単位：円)

科目		金額				
I. 経常収益	1. 受取会費		5,811,000	5,811,000		
	2. 受取寄附金		3,154,875	3,154,875		
	3. 受取助成金等 受取民間助成金		1,772,030	1,772,030		
	4. 事業収益 人材育成関連事業収益		582,000	582,000		
	5. その他収益 受取利息 雑収入 経常収益計		37 60,000	60,037		
				11,379,942		
II. 経常費用	1. 事業費	(1) 人件費 役員報酬 給料手当 法定福利費 人件費計		0 605,360 0 605,360		
		(2) その他経費 学費支給費 奨学金支給費 奨学金支援金 人材育成関連事業費 旅費交通費 通信費 地代家賃 水道光熱費 謝金 緊急支援費 雑費 その他経費計 事業費計		621,677 1,176,325 1,563,180 667,142 107,596 71,518 510,783 188,245 35,533 1,414,964 179,200 6,536,163		
				7,141,523		
		2. 管理費	(1) 人件費 役員報酬 給料手当 福利厚生費 人件費計		0 2,648,051 71,954 2,720,005	
			(2) その他経費 会議費 通信費 研修費 車両管理費 業務委託費 支払手数料 消耗品費 租税公課 国内業務委託費 雑費 その他経費計		27,187 155,988 66,699 140,687 121,827 241,168 222,535 34,111 184,800 304,641 1,499,643	
				4,219,648		
	管理費計			4,219,648		
	経常費用計 当期経常増減額				1,1361,171 18,771	
	III. 経常外収益	1. 過年度損益修正益 経常外収益計		2,065,426	2,065,426	2,065,426
	IV. 経常外費用	1. 為替差損 経常外費用計		115,240	115,240	115,240
経理区分振替額			0	0		
当期正味財産増減額					1,968,957	
前期繰越正味財産額					7,008,951	
次期繰越正味財産額					8,977,908	

※過年度損益修正益は、2021年4月末時点のフィリピンペソ口座残高969,684.01ペソ（レート2.13円）の計上もれである。
※為替差損は、為替レート変動による影響額である。

貸借対照表 (2021年12月31日現在)

(単位：円)

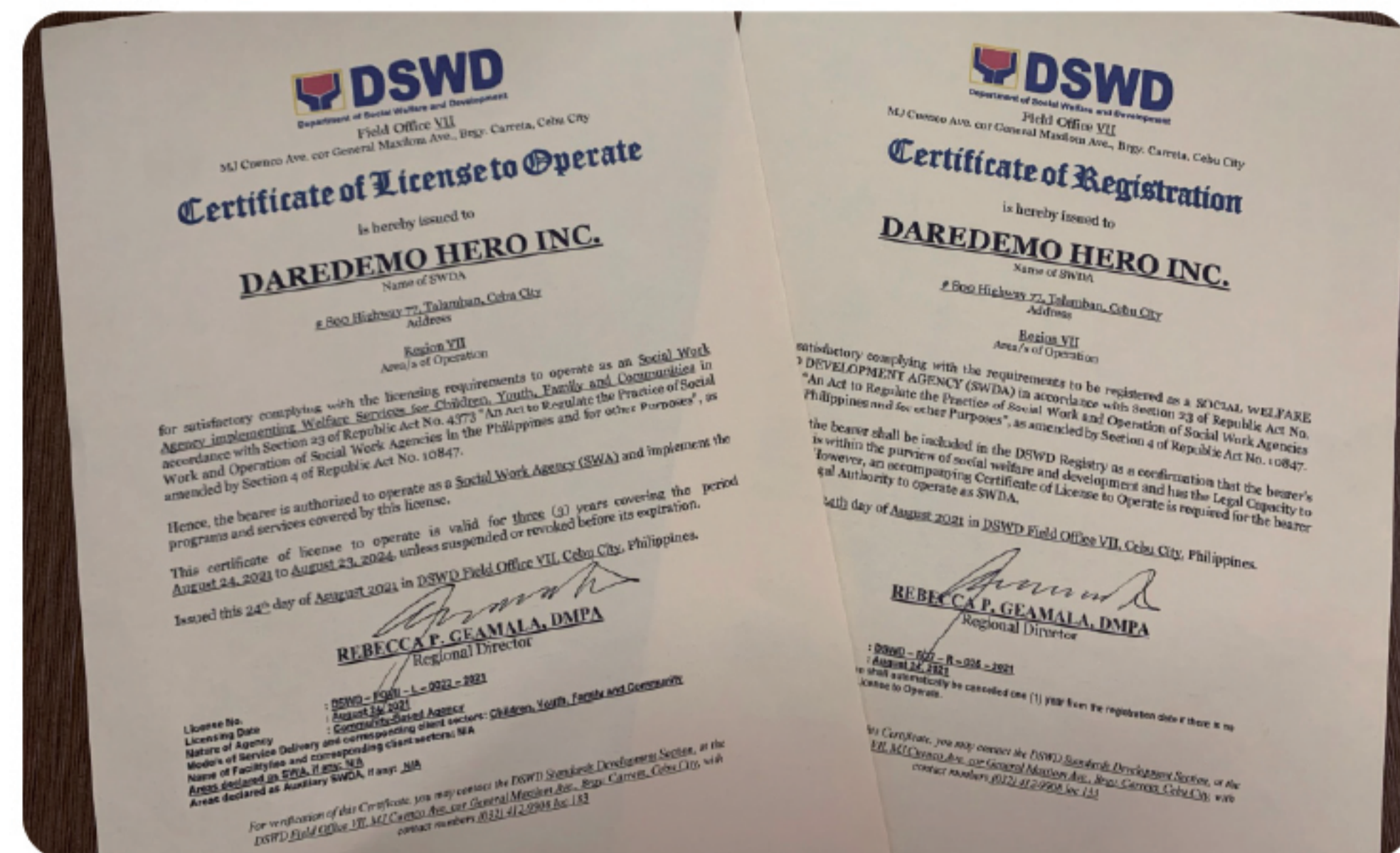
科目		金額		
I. 資産の部	1. 流動資産 現金預金 流動資産合計		9,043,215	90,043,215
	2. 固定資産 (1) 有形固定資産 有形固定資産計 (2) 無形固定資産 無形固定資産計 (3) 投資その他の資産 投資その他の資産計 固定資産合計			9,043,215
II. 負債の部	1. 流動負債 未払金 預り金 流動負債合計		63,265 2,042	65,307
	2. 固定負債 固定負債合計			
	負債合計			65,307
III. 正味財産の部	前期繰越正味財産 当期正味財産増減額 正味財産合計			70,008,951 1,968,957 8,977,908
負債及び正味財産合計				90,043,215

助成金内訳 (掲載順不同)

1. 公益財団法人大阪コミュニティ財団 / ストリートチルドレン等救済基金			
対象期間	2021年4月1日~2022年3月31日	受取助成金	998,000円
対象事業	世界最長のロックダウン実施国のフィリピン、コロナ禍の苦境を共に生き抜く！		
2. 公益財団法人ウェスレー財団			
対象期間	2021年4月1日~2022年3月31日	受取助成金	3,000,000円
対象事業	貧困層から未来のリーダーを育成するプロジェクト		
3. 今井記念海外協力基金			
対象期間	2021年11月1日	受取助成金	992,000円
対象事業	貧困層からのリーダー育成事業~Leave no one behind~		
4. ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ JAPAN COMMUNITY IMPACT			
対象期間	2021年11月1日	受取助成金	300,000円
対象事業	ラーニングセンター運営		

組織強化の取り組み

フィリピン政府の社会福祉開発省の許認可を取得！



現地法人 DAREDEMO HERO INC. として活動を続けて9年。たくさんの試練がありました。いつも周囲の皆様を支えていただき、ここまで活動を続けることができました。そしてこの度、悲願のフィリピン政府の社会福祉開発省の許認可を取得することができました！

これにより正式にフィリピンでNGOとして認められ、国内でのファンドレイジングやNGOネットワークへの参加などが可能になり、より現地に根付いた支援活動が可能になります。

その他組織強化の一環として、以下を実施しました。

事業年度の変更

事業年度を現地法人に合わせ、毎年1月1日に始まり同年12月31日締めに変更しました。(これにより活動計算書により詳細な支出を掲載できます)

事務局作業の一部外部委託

今後メールやお手紙の送信を一部外部委託し、事務局として委託先より配信されます。

2022年度は組織強化に力を入れ、これまで以上に正確な情報発信やこまめな連絡体制を整えていきます。今後もより良い支援を行うために、スタッフ一同努力を惜しまず邁進してまいります。



様々な方法で、当団体の活動にご参加いただけます

DAREDEMO HERO では、子どもたちの夢の実現のために、ニーズに沿った幅広い支援活動を行っています。これからの活動は全て、ご支援者さまからのご寄付によってまかなわれています。

寄付で応援

- **里親として奨学生を支援する（里親会員）**
当団体の支援者する奨学生の1人（もしくは複数人）の成長を支え、見届ける方法でご支援いただく制度です。
✓ 月額会員（1口2,500円～）
✓ 年会員（1口30,000円～）
2種類の決済方法からお選びいただけます。
- **団体の運営を支援する（一般会員）**
団体の運営全体へのご寄付です。
✓ 年会員（1口10,000円～）からご支援いただけます。
- **企業として団体を支援する（企業会員）**
企業さまによる団体の運営全体へのご寄付です。
✓ パートナー企業：年会費（1口5万円～）からご支援いただけます。
- **特定のプロジェクトを支援する（単発寄付）**
その時々に必要な緊急支援（新型コロナウイルス支援や台風などの災害支援など）へのご寄付です。
✓ お好きなタイミングでお好きな金額をご支援いただけます。



他の方法で応援



物資でのご寄付 スタディツアー インターンシップ 単位認定プログラム オンラインSDGsプログラム

ご支援のお問い合わせは、DAREDEMO HERO 事務局まで

日本の支援者のみなさまから連絡がつきやすいように固定電話を取得しました！
(フィリピンに転送されますが、国際電話通話料金は当団体負担になります)

電話 050-6865-6966(日本から)
0917-706-7575(フィリピンから)

メール info@daredemohero.com



ご支援の詳細・お申し込みはこちら



すべての子どもたちが夢と希望を持ち、努力が正当に報われる社会を実現する

NPO 法人 DAREDEMO HERO

-
- 住所** 兵庫県西宮市下大市東町 6-11-302 (日本事務局)
800 Highway 77 Talamban cebu City Philippines(フィリピン事務所)
- 電話** 050-6865-6966(日本から) / 0917-706-7575(フィリピンから)
- メール** info@daredemohero.com